

## 委員会の活動報告



## 事業部

11月19日(土)に「西京区民ふれあいまつり」にあわせて、「楽祭 in らくさい」を開催しました。

展示コーナーでは、「秋のまちあるきツアー」で描かれたスケッチ作品のほか、住民の皆さんの応募による写真、秋の美しい樹木を選びすぐったパネルなど、さまざまな角度からニュータウンの魅力に光をあてました。

竹細工コーナーでは、ニュータウンの竹材を使い、竹鉄砲や下駄、弓矢などを作り、子どもと一緒に遊びました。

また、ふれあいまつりには、たこせんや竹酒を販売するブースを出展。当日はあいにくの雨でしたが、憩いや語らいの場となって、賑わいました。



展示コーナー

## 環境部会

まちの美化の実現に向けた「まちの美化推進住民協定」の活用や、街路樹の景観維持と樹木管理のための「緑のガイドライン」づくり、街並み景観を守る「地区計画」などの理解と周知をすすめています。

今年目標である「開かれた部会」の一環として、平成23年10月22日に、ミニ勉強会「ごみゼロまちづくりの提案」を開催しました。今後も住民の皆さんと交流を進めつつ、「地区計画」などについての勉強会を行う予定です。



第41回環境部会

また、「緑のガイドライン」づくりに向け、2月26日(日)には、「洛西ニュータウンの樹木みてあるき」を行います。(詳細は4面参照)

## 安心安全・子ども育成部会

12月18日(日)に、昨年も好評だった「焚き火で焼き芋イベント」を子どもまちづくりサポーターと実施しました。焚き火で焼き芋ができることを知らない子どもたちにとっては、新鮮で楽しく、驚きの体験となりました。「芋の買出しチーム」と「薪の収集チーム」に分かれ、それぞれの役割をこなしつつ、目的地の大枝稻荷神社に向かいました。

芋をアルミホイルに包んで、焚き火で出来た灰の中へ入れ、40分ほど待って、竹串で中の状態を確認したら出来上がりです。自分たちで準備して調理した焼き芋は最高でした。お腹も心も充実し、火の後始末をして解散しました。



焚き火で焼き芋イベント

## コミュニティ部会

今年度は各地域の主な行事や、個人レベルで身近な活動をされているグループを紹介し、「絆」を深める「参加型のまちづくり」を進めるために活動しています。

「コミュニティ」を地域で共同意識を持つ人々の集団や地域社会とすれば、洛西ニュータウン創生推進委員会そのものが「コミュニティ」活動といえます。「共汗」して共同活動する中で、共助による「安心」と「感謝」の気持ちを共有できるのも「コミュニティ」といえます。

平成23年の漢字は「絆」でした。東日本大震災の経験から、住民が何らかの形で繋がっていたいというのが自然です。そして、この「絆」は自分から求め、積極的に参加して初めて得るものと思っています。



定例会

## 生活機能向上部会

「交通アクセス改善」と「サブセンター活性化」の2チームに分かれて活動しています。関係する機関や団体との相互理解や信頼に繋げていくことが大切であり、長い期間が必要ですが、根気よく継続的に活動していきます。

交通アクセスについては、バス事業者4社を訪問して情報交換を行い、また、京都市の歩くまち京都推進室の課長を招いて、洛西の交通についてミニ勉強会を開催し、相互の理解を深めています。

サブセンターについては、「まちの縁側」としての会館利用促進のため、公社と意見交換を行っています。また、福西サブセンター活性化のために、商店会のイベントのお手伝いを通してコミュニケーションを図っています。

新たに自転車道路の現状調査と課題の整理を行い、マップ化することで機能向上につながる活動を目指しています。



ニュータウンを走る市バス